

北九州学術研究都市
台湾半導体企業進出「第2弾」!

報道機関各位

台湾の半導体検査企業「筑波科技股份有限公司」が拠点開設!
～次世代半導体の品質を支える「テラヘルツ検査技術」で産学官連携を加速～

台湾・新竹に本社を置き、半導体・通信分野の試験・検査や医療用情報システム開発を手掛ける企業「筑波科技股份有限公司(ACE Solution CO., Ltd)」が、令和8年7月、北九州学術研究都市に新たな拠点を開設することが決定しました。

今回の進出は、北九州市が掲げる「G-CITY 戦略(※1)」のもと、「北九州市企業誘致セミナーin 台北」でのトップセールスや「セミコン台湾 2025」への出展など、これまでの誘致活動が、着実に実を結んだ証です。今年度早くも2件目の決定となり、台湾の半導体企業の進出の動きが加速しています。

同社の強みである「テラヘルツによる材料・ウエハの非破壊検査」は、半導体3次元実装での適用が期待され、次世代半導体の要として注目されている最先端技術です。

早稲田大学や北九州市立大学など、国内有数のテラヘルツ関連研究が集積する学術研究都市と同社の技術とが融合することで、北九州市の半導体エコシステムの形成に向けた産学官連携がさらに加速します。是非、取材方よろしくお願いたします。

記

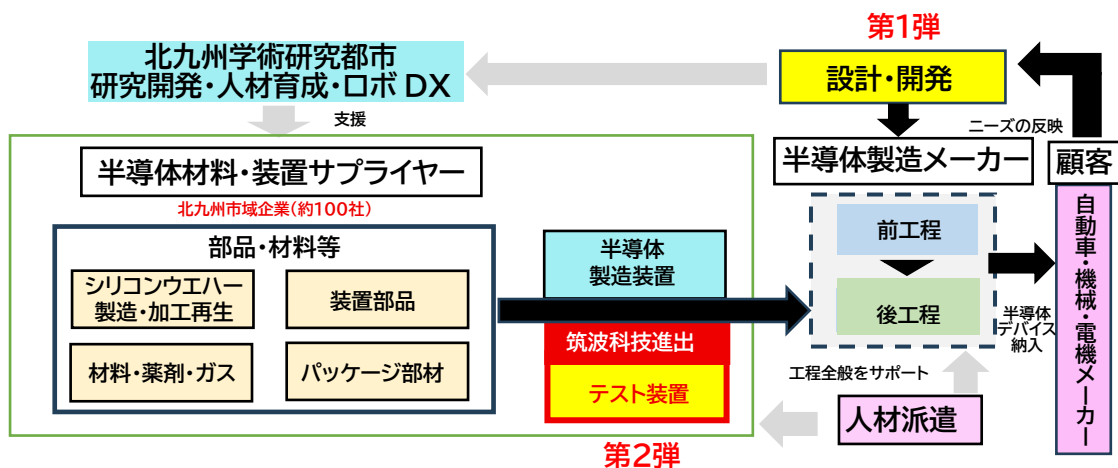
1 拠点開設の概要

- (1) 開設日 令和8年7月1日(水)
- (2) 場所 北九州学術研究都市 情報技術高度化センター(3号館)
開発センター棟3階 小型研究室1(若松区ひびきの2番5号)

(3) 事業内容

半導体の「テスト工程」を担う企業であり、新拠点では以下に取り組みます。

- ・ 半導体テスト・評価技術やスマート医療分野での研究開発
- ・ テラヘルツ検査(※2)など大学研究シーズとの共同研究
- ・ 九州を起点とした半導体テスト・評価関連商材の日本市場展開



2 企業概要

会社名	筑波科技股份有限公司(ACE Solution CO., Ltd)
設立	2000年
代表者	許深福(シュ・シェンフー)
本社所在地	台湾・新竹
拠点	中国(蘇州・深圳)、ベトナム、日本(鹿児島県出水市)
従業員数	150名
事業内容	テラヘルツによる材料・ウエハ・3DIC パッケージ非破壊検査、 化合物半導体テスト、Wi-Fi 無線通信テスト、シリコンフォトニクス・ 光通信測定、電子カルテ、医療 AI(手書き認識/画像解析/予測モデル)
備考	半導体受託製造最大手 TSMC をはじめ、100社以上のグローバル パートナーに試験・評価サービスを提供する成長企業

3 筑波科技股份有限公司と北九州市とのこれまでの関わり

- (1) **令和7年9月**:「セミコン台湾2025」に北九州市が初出展。同社ブースを訪問するとともに、同社日本支店(出水市)も同日訪問し、交流を開始。
- (2) **令和8年1月**:「北九州市企業誘致セミナーin台北」(天下経済フォーラム)に同社が参加。北九州市の投資環境をPR。
- (3) **令和8年2月**: 早稲田大学大学院北九州キャンパスに許代表が訪問し、研究者と意見交換を実施。



【武内市長コメント】

筑波科技股份有限公司の、北九州学術研究都市への進出を心より歓迎いたします。
同社が誇る「次世代半導体の品質を支える検査・測定技術」は、G-CITY戦略のもと北九州市が目指す「半導体エコシステムの構築」を加速させる推進力となります。
学術研究都市が培ってきた高度な研究力との融合により、世界の半導体競争力をリードする新たなイノベーションと産業人材を、北九州市から生み出してまいります。

(※1)G-CITY戦略とは

大学の「知」と先端産業が融合し、イノベーションが連続して生まれる街を目指し、台湾の「新竹サイエンスパーク」を成功モデルに、半導体や次世代自動車などを軸とした産学連携機能を強化し、新産業創出に取り組む、北九州学術研究都市の新たな戦略。

(※2)テラヘルツ検査とは

テラヘルツ波という特殊な電磁波を用い、チップ内部を非破壊で可視化する検査技術。

【問合せ先】

産業経済局 未来産業推進課 担当:福田(課長)、安藤(係長) TEL:093-582-2905